

平成22年度 事業計画について

1. 全国の「おもちゃの図書館」活動に対する助成事業

(1) 目的

- ①本事業は、ボランティアの人々によって運営されている全国の「おもちゃの図書館」活動を支援するもので、本財団の主要な事業である。
- ②現在、全国で約500カ所の「おもちゃの図書館」が活動しているが、これら「おもちゃの図書館」の活動が円滑に運営出来るように、おもちゃやおもちゃの収納箱等を購入するのに必要な資金について助成する。
- ③この「助成事業」は、平成18年度の申込から従来の申請方式（A申請・事前リストアップ方式）に加え、より広範囲に活用する為に助成金を一律5万円とする申請方式（B申請・事後報告方式）を新設して実施している。

(2) 平成22年度、助成事業の計画数と過去の助成実績

①本年度(平成22年度)の助成計画：A・B申請合わせて100カ所、7,000千円

②前年度(平成21年度)の申込み件数と助成実績

<助成件数>

(A申請) 申込み・33カ所 → 助成実績・22カ所

(B申請) 申込み・59カ所 → 助成実績・57カ所

合計：79カ所

<助成金額>

(A申請) 申込み・7,247千円 → 助成実績・3,908千円

(B申請) 申込み・2,950千円 → 助成実績・2,850千円

合計：6,758千円

③累計の助成実績（昭和60年度～平成21年度）

<助成カ所・総数> 1,571カ所

<助成金・総額> 166,206千円

2. 山科直治記念レジャー活動支援事業

(1) 目的

- ①本事業は、おもちゃの図書館活動が25年余の歴史を刻み、それとともに障害のある子ども達が成長したことに伴い、これら障害のある子ども達やその親達の活動、行動の範囲を「おもちゃの図書館」内に止めるのではなく、更に社会や地域に拡大することを志向してきていることを踏まえ、「山科直治記念レジャー活動支援事業」として、全国の「おもちゃの図書館」がレジャー活動等を行うための経費の一部を支援する。
- ②本事業は、従来「山科直治記念事業」として、障害のある子どもとその親が、地域で「おもちゃの図書館」活動に献身的に貢献していることに対してそれを表彰するとともに家族旅行に招待してきたが、平成15年度より新たにレジャー活動等の支援も加え経費の一部を支援することとなった。
- ③平成15年度よりモデル的に始めたレジャー活動の支援事業は、こちらの事業の方を重視して欲しいとの要望により、「家族支援事業」に替わって、平成16年度から本格的に「レジャー活動支援事業」を行なってきた。

(2) 平成21年度の支援(助成)実績と平成22年度の計画

①21年度 実績

申込件数・ 36ヶ所 申込金額・ 3,025 千円

助成件数・ 15ヶ所 助成金額・ 1,083 千円

②22年度 計画

助成件数・ 20ヶ所 助成金額・ 1,500千円

3. イベント事業の支援や普及活動の促進

(1) 本事業の実施方法

①本事業は、おもちゃ図書館活動の普及促進の為 実行可能な範囲内で下記(2)項の事業を立案、或いは支援し 普及活動を促進する。

(2) 本事業の種類

- ①障害のある子どもたちを、こどもの城などの施設・会場に招待するイベント
... <子どもお楽しみ劇場>
- ②災害被災地等への「おもちゃの広場」の開催支援 ... <おもちゃキャラバン>
- ③写真パネル展示等による おもちゃの図書館活動の紹介、
新しいおもちゃの紹介、募金活動 等 ... <おもちゃの広場>
- ④各地の研修会、催し会場等での「おもちゃの広場」開設に対する支援
- ⑤「おもちゃの図書館・チャリティコンサート」の支援
- ⑥永年に亘り活動している全国の「おもちゃの図書館」を表彰

尚、前年度に続き「東京おもちゃショー2010」(平成22年7月15日~7月18日)開催の際、主催団体である「日本玩具協会」より展示ブース(1小間)の無償提供を受け「おもちゃの図書館全国連絡会」と協働して「移動・おもちゃの図書館」を開設する。

4. 「おもちゃの図書館全国連絡会」(以下「全国連絡会」)に対する助成

(1) 「全国連絡会」主催の「おもちゃの図書館ボランティアの集い」へ助成

①本年度開催する「東京おもちゃショー2010」(前述)に合わせて「全国連絡会」が「おもちゃの図書館 ボランティアの集い」を7月16日(金)に開催するので、その実施のために必要な費用の一部を支援する。

(2) 全国の「おもちゃの図書館」による「ミニ学習会」の助成

①「全国連絡会」が「おもちゃの図書館・地区別研修会」を開催する際、地域によっては交通の便や諸般の事情により参加できないところがある。

このため「全国連絡会」では、これらの地域の要請に応じ「ミニ学習会」を実施しているが、その費用の一部を助成する。

②本年度は「ミニ学習会」を10会場程度 予定している。

尚、「地区別研修会」は、(財)日本児童福祉協会と「全国連絡会」が共催で7会場(予定)で開催される。

(3) 国際活動の支援

①「おもちゃの図書館 国際会議」や「同、アジア会議」に、「全国連絡会」が参加する際に対し費用の一部を支援する。

(4)「全国連絡会」事務局の活動助成

- ①「全国連絡会」の事務局活動に必要な経費や費用の一部を助成する。
- ②「財団助成事業」、「山科直治記念レジャー活動支援事業」の実施に際し、全国の申請団体から当財団への照会等に対し、「全国連絡会」が、それらの対応や審査データ整理など、当該事業の効率的な実施について協力願うことを考慮し、その活動経費の支援を行う。

5.「ふれあいコーナー」の充実

当財団に設置している「ふれあいコーナー」をより充実させるため、障害児に適するようなおもちゃを購入・展示し、おもちゃの選定等の相談に応じたり、必要に応じては貸し出しも行なう。